

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-247-6781

年度	平成26年度		
施設名	新潟市若者支援センター	所管部・課	教育委員会生涯学習課
施設の設置目的	若者に交流及び研さん ^{さん} の場を提供し、すべての若者の健やかな成長を支援することにより、若者の社会的自立、社会参加及び社会参画の推進に資する。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	H26.5.2
歳入	0	正職員	2	修正日	
歳出	7,762	非常勤	8	評価日	H27.6.4

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価
			項目	H23実績	H24実績	H25実績	H26目標				
1	市民	困難を抱える若者やその保護者、関係者の相談を受け、適切な機関につながります。	相談受付数(件)	193	219	398	400	486			B:達成
2	市民	若者が困難さを克服し、自信を回復するための講座を開設します。	若者自立支援事業等延参加者(人)	390	855	1,194	1,253	1,480	前年度5%増の目標を設定した。	若者自立支援事業(ユースクッキング・自信を育てる講座・農的暮らし体験事業他)	B:達成
3	市民	若者支援センターの認知度を高め、利用の促進を図ります。	HPアクセス数(件)	92	6,198	7,544	7,921	5,547	前年度5%増の目標を設定した。		C:未達成 主催事業の周知など積極的に情報提供を行ったが、目標値に満たなかった。事業参加者は増えているので、HPの閲覧の効果はあったと思います。
4	人材	多様化する相談内容や、居場所にいる様々な若者に対応するため、研修を行います。	研修会延参加者(人)	85	128	221	232	112	前年度5%増の目標を設定した。 スーパーバイザーによる研修会		C:未達成 委嘱したユースアドバイザーの内7人が都合により辞職したため研修参加者が見込みより減少しました。
5											
6											
7											
8											
9											
10											

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
引き続き、若者支援センターの広報に努めます。継続支援をする若者に対して、定期的に面談を行います。支援事業では、若者の社会的・職業的自立に向けたプログラムを実施します。また、若者支援のスキルアップを図るため、積極的に研修会を行います。	相談は、今年度から居場所担当を配置したことから、若者との相談機会が増え、若者の悩みが多く聴けたこと、話を重ねるにつれて相互の信頼感が増し、相談すうの増加につながったと評価しています。 支援事業は、HPや関係機関へのチラシ配布などの効果があつて多くの参加がありました。今後も関係機関との連携、HPの魅力度アップに努めます。 研修機会については、ユースアドバイザー任期途中の都合による辞任が要因として挙げられます。今後はユースアドバイザーと受験者の地域活動やボランティアなどライフワークをより一層確認し、ダブルブッキングが起きないように留意します。